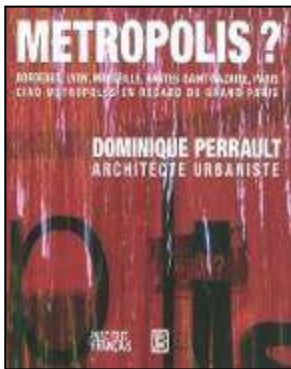


-Les Ressources trimestrielles 2012 -



Le livre du mois



Metropolis ?

著者：ドミニク・ペロー 出版：アンスティチュ・フランセ

フランスでは、グラン・パリ計画が推進される中、フランス国立図書館や大阪富国生命ビルを手掛けた建築・都市計画家であるドミニク・ペローが、フランスの大都市、パリ・ボルドー・リヨン・マルセイユ・ナントを中心に、メトロポリスと呼ばれる大都市についての考察を展開している。
ベネチア・ビエンナーレにおける展覧会のカタログ。
ビエンナーレでのフランス館の展示の様子等、ペロー氏自身が解説する DVD 付。

A écouter à tout prix !



Bénabar 2001 年

歌手：ベナバー

『ベナバー』という歌手自身の名前を冠した CD。
このアルバムで、シンガーソングライターのベナバーは、恋愛や平凡な毎日の繰り返しといった、日常を語っている。
ユーモアたっぷりの歌詞を、金管楽器やピアノが楽しい音楽で盛り上げる。フランスのフェスティバルでも引っ張りだこのベナバー。
このディスクには、彼のデビュー当時の作品「Bon anniversaire (ハッピー・バースデー)」と「Y'a une fille qu'habite chez moi (僕の家に住んでいる女の子がいる)」が収録されている。

Le film coup de cœur



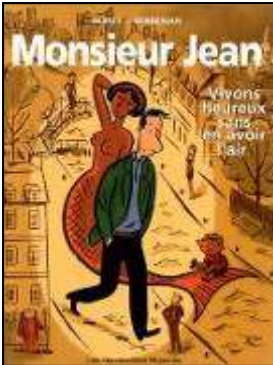
『花咲ける騎士道』99分 2003 年

監督：ジェラルド・クラウジック

出演：ヴァンサン・ペレーズ、ペネロペ・クルーズ

フランス映画の豪快活劇が、当世風によみがえった。ユーモア、アクション、舞台装飾。18 世紀のフランスを満喫できること間違いなし！

La BD du mois



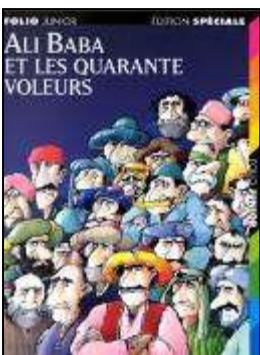
『ムッシュー・ジャン - vivons heureux sans en avoir l'air』

絵・文：デュピュイ&ベルベリアン

『ムッシュー・ジャン』シリーズの4作目で、どこにでもいる普通の男性ジャンの何の変哲もない日常生活を描いた作品。

生きて行く中での選択、様々な人生の場面、愛、仕事、子ども。ジャンが関心を持つそういった日々の出来事に、読者は共感し、親近感を覚えるのだろう。

En français facile



『アリババと40人の盗賊』

アリババは普通のきこりだった。そんな彼が、ある日、40人の盗賊が「開けゴマ！」と唱えて洞窟に入って行くのを目撃したところから、アリババの素晴らしい冒険が始まる。

このアラビアのお伽噺は、世界中で最も有名なお話しの1つ。漫画や映画になってはいるが、もともとは、お伽噺や神話の世界のお話し。

La presse française à l'Alliance



Détour en France, en Alsace (2006)

今回は、アリアンスの所蔵する雑誌のバックナンバーの中から、アルザスを特集した美しい「Détour en France, en Alsace」を紹介する。ストラスブール、コルマル、特産物、ワイン等、このフランス東部に位置し、ドイツとの国境にあるアルザス地方の魅力が満載の一冊。

特にアルザスのクリスマスを知りたい人には、お勧め！